



《笑顔でチャレンジ!》

# 学校だより

上越市立下黒川小学校

第 15 号

令和2年2月10日発行 (回覧3月1日便)

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



## 普段の行いがいい人たちは違うなあ～!

## 素直な子どもたち…天の神様も味方してくれました!

校長 岩下 伸子

暖冬、小雪の今冬。

毎日天気予報を気にしながら、スキー教室は実施できるのかな? スキー場は大丈夫のかな?……子どもたちは、ずっと心配していました。もちろん職員も心配していました。そして、前日は強い雨。当日の朝も雨……。

しかし、スキー場では、前日から降った新雪が、子どもたちを待っていました。

午前中は少し曇っていたようですが、その後、晴天に恵まれ、スキー日和。

「楽しかった」「いっぱい滑った」「上手になった」「疲れた～」…と、スキー教室に参加した3～6年生の子どもたちが、笑顔で帰ってきました。

柿崎スポーツクラブの武田様、内田様、佐藤様、松崎様、学校運営協議会の小松会長様、吉井後援会長様、そして7名の保護者ボランティアの皆様、さらに今回は学校訪問カウンセラーの若井先生からのご指導いただきました。14名の皆様に参加していただきましたので、7班に分かれ、一人一人丁寧に指導していただきました。本当にありがとうございました。もちろん9名の職員もがんばりました。

初めてスキーをするという子どもたちは、スキーを履くところからのスタートです。そのため最初は、歩いたり、少し坂を上ったりすることも難しい子があります。そういう子どもたちには、スキーの履き方を教えてくださり、転んだとき助けけてくださるボランティアさんがいると本当に助かります。

初めてスキーを履いた子どもたちも、最後はリフトに乗り、上から上手にボーゲンで滑ってくることができました。満面の笑みで滑り降りてきた子どもたち。来年もがんばると張り切っています。上手な子どもたちは、シュテムターンやパラレルターンを練習し、スキルアップを図りました。

雪国上越に生まれ、育つ子どもたちにとって、スキー教室は素晴らしい体験・経験になりました。

ご協力いただきました指導者・ボランティアの皆様、ありがとうございました。

また、スキー教室の準備をしてくださった保護者の皆様、ご協力、ありがとうございました。



# お天気にも恵まれ、指導者・ボランティアの先生方から丁寧に教えていただき、とっても楽しかった「スキー教室！」



開講式、よろしくお願いします！



開講式後、準備体操をしてスキー授業開始！ よし！ガンバリソ！



広いグレンデで、班ごとに練習！ それぞれの力に応じ、楽しく、一生懸命滑りました！ あっという間に午前の部終了！



たくさん滑った後のお昼は格別！ カレー・牛丼・チャーハンの中から好きな物を選びました！ あっという間に完食！



午後の部開始！スキー教室も1週間！1週間！上手になりました。

## 「スキー教室」子どもたちのお礼の手紙より一部抜粋



- スキーのコツを教えていただき、最後は転ばないで滑れて楽しかったです。
- 最初はちゃんと滑れるのにか心配だったのですが、先生が後ろで滑ってくださったおかげで、安心して滑れました。ありがとうございました。
- 転んだときに優しく「大丈夫？」と声をかけていただき、ありがとうございました。
- 横にいくときや止まるときのやり方を教えてくれてありがとうございました。滑れるようになったのでスキーが楽しくなりました。
- スキー板が外せないとき外していただきありがとうございました。うれしかったです。
- スキーの面白さが分かりました。午後の部は曲がりながら滑ることができました。
- 山開きシュテムターンができるようになりました。ありがとうございました。
- パラレルターンができるようになりました。ありがとうございました。
- 滑れて楽しかったです。また来年も来てください。



閉講式。指導者・ボランティアの先生方、丁寧に教えてくださり、とても楽しいスキー教室でした。ありがとうございました！

..... 来年度のスキー教室は2月2日(火)の予定です。来年度もご協力をよろしくお願いいたします。.....

# 「鬼は外！福は内！」…心の鬼を追い出し、元気に過ごそう！1月3日



節分のいわれについて、運営委員が説明した後、みんなで「大豆鬼」をしました。鬼に捕まった人は「大豆！」と言ってしゃがみます。恵方巻を食べさせてもらうと復活します。氷鬼のような遊びです。運営委員の子どもたちが考え、準備しました。

その後、子年生まれの5・6年生が落花生をまきました。大きな声で元気いっぱい「豆まき」をしたので、心の鬼を追い出すことができましたでしょうか？



写真左は下学年と6年子年の子どもたちの豆まきです。まく人は5年子年の子どもたち。写真右は上学年の豆まきです。まく人は6年子年の子どもたちと4名の職員。大きな声で「鬼は外！福は内！」と言いながら落花生をまきました。

## 「全国学校給食週間」

TOKYO OLYMPICS



1月27日(月)～31日(金)は給食週間でした。献立は、  
 ≪東京2020オリンピック・パラリンピック 新潟ホストタウン記念給食 ～給食を通して、ホストタウンと参加国の食文化や競技を知ろう～≫をテーマに、上越市や新潟市とホストタウンに登録されているドイツ・ロシア・モンゴル・フランスの料理や食文化を紹介する献立でした。それぞれの国の特徴あるメニューを、学校給食週間に合わせて、調理員さんたちが工夫して作っていただきました。「モンゴルの赤いスープってどんなスープだろう？真っ赤なスープが出てくるのかな？」とドキドキしながら楽しみにしていた子どもたちは、当日、乳製品が入った白のスープに対し、肉が入ったスープを「赤いスープ」と呼ぶことに納得！

栄養士の藤井先生からは、給食の始まりや、明治22年に初めて出された給食の献立、昭和・平成・令和の給食献立の特徴、さらに調理員さんたちが協力して一生懸命、安全・安心・美味しい給食を作っていることなど、たくさんのお話をしていただきました。



## 「箸づかい選手権！」

例年、給食週間にしていた「箸づかい選手権！」

これまで、心班対抗で何個大豆をつまんで移動できるかを競ってききましたが、今回は、個人戦。10秒で何粒移動できるか、競いました。10秒はあっという間。後半になると焦って思うようにつまめません。

正しい持ち方をしていると、正しく大豆をつまめるようです。中には正しく持てなくても、器用に大豆をはさみ、皿からお碗に移していた人もいました。ご家庭でも、親子対抗箸づかい選手権に挑戦してみてもいかがですか？



## 「完食！ 食缶 空っぽ！」

好き嫌いがあつたり、小食でなかなか量が食べられなかったりした子どもたちも、3学期になると、お代わりをしたり、完食したりして、食缶が空になる日が多いです。



「あ〜！美味しかった！」「もっと食べたかったな〜」なんて言う子がいます。3時間目ぐらいから「お腹すいたな。給食まだかな〜」と言う子もいます。食欲があり、何でも好き嫌いなく食べられるようになるのはよいことです。体も大きく成長しているようです。栄養士さん・調理員さんたちも大喜びです。

## 「委員会 見学！ 4年生！」

下黒川小学校には、運営委員会、福祉委員会、給食委員会、健康委員会、図書放送委員会の5つの委員会があります。5・6年生が、5つの委員会に分かれ、責任をもって活動しています。

2月7日(金)、4年生が来年度に向けて、委員会活動を見学しました。11人の6年生が卒業し、10人の4年生が新たに加わります。どの委員会も真剣に活動内容を説明し、見学する4年生は真剣にメモをしていました。

委員会活動の時間設定は年間13時間ほど。各委員会のイベント的な活動内容を相談し、準備したりしています。そのほか、日常活動として全校児童が元気に・明るく・健康に過ごせるように取り組んでいます。現在、運営委員会ではあいさつ運動実施中です。福祉委員会は2月19日の福祉の集いの準備をしています。給食委員会はいただきます・ごちそうさまのあいさつと給食の片付けチェックなどを、健康委員会は毎日給食後の歯磨き指導などをしてくれます。毎年「よい歯」の表彰を受けています。図書放送委員会のおかげで貸出冊数が増えました。

6年生の皆さんが中心となって進めてくれた委員会活動を、来年度は、15人の5年生と10人の4年生が引き継いでいきます。



## 「あいさつ運動実施中！」

運営委員会の子どもたちが工夫して計画した「あいさつ運動」

低学年は大きな声であいさつをしたらシールを貼り、中学年は多くの人(5人以上)にあいさつしたらシールを貼り(5人が多いのかどうかは疑問ですが…)、高学年は先にあいさつをしたらシールを貼ります。シールを貼るのは、1~3年生はあいさつマスコットのきすなくん、4~6年生はきすにちゃんです。どちらが先に完成するでしょうか？

基本的な社会のルールとして「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」などのあいさつができるのは、社会人としての最低限のマナーと言われています。

下黒川小学校にも気持ちのいいあいさつの輪が広がり、爽やかな1日がスタートできるといいですね。ご家庭でもあいさつ運動の輪が広がるようにご協力をお願いいたします。



## 「スクールバスは、マスク着用で！」

子どもたちの間にインフルエンザの流行もなく、元気に過ごせているのも、「早寝早起き朝ご飯」と「手洗いうがいの励行」「スクールバスでのマスク着用」が徹底しているからかもしれません。

コロナウイルス等が心配され、マスクが品薄となっているようですが、大丈夫でしょうか。

元気に3

学期を乗り切るために、スクールバス内のマスク着用を今後も継続していきます。

手洗い用のハンカチの携帯についても、よろしくご協力をお願いいたします。



上越市では学校運営協議会の委員を募集しています。応募締切は令和2年2月28日です。問合せ先は上越市教育委員会学校教育課545-9244です。学校にも募集のチラシがあります。